

実践事例や教材の活用事例等、英語科の先生方に参考にしていただける情報をお届けします。

実践  
紹介1人1台タブレット端末、  
こんなふうに使っています

札幌市立清田中学校  
西島 明子

**はじめに** 紙とペンでは集中が続かなかった生徒がいた。しかし、タブレット端末を活用すると、意欲的に活動するようになった。このような実態を受けて、言語活動を充実させるためには欠かせない学習道具の1つとしてタブレットを活用した以下の実践1や2を考えるに至った。また、午後課題や小テスト、ワークシート的一部分をデジタル化したことで、視認性、再読性が高い紙とデジタルの両媒体を併用し、授業改善を図った。

実践  
1

## Show and Tell ~ 夏休み中に発表→提出→評価まで完了! × ICT ~

中学1年生を対象に実施したShow and Tellは、夏休み中に自宅でクロームブックを使って録画発表、提出をしてもらい、教師が夏休み中に評価まで行った事例を紹介する。

## &lt;生徒の活動&gt;

- 1) 自分の好きなこと(もの)に関するスピーチの原稿を作成する。  
※夏休み中に、クロームブックのミート機能を使ってオンライン学習会を行い、質問タイムを設けて、全員が課題を達成できるように支援した。
- 2) クロームブックのカメラ機能を使って、自宅でスピーチ動画を録画する。(マスクを外す、画面との距離は50cm以内で口元や表情がわかるように指示し、私服もOKとした。)  
※好きなこと(もの)の実演をする生徒が多数おり、何に興味・関心があるのか、また自宅の様子や休暇中の過ごし方もわかるなど、生徒理解に繋がった。

## 【生徒の実際の発表内容例】

Hello! I'll introduce my precious pet bird. His name is Chiro, a young cockatiel. At first, Chiro couldn't eat his food on his own, so I fed him every day and trained him to eat alone. Now he can eat well by himself. He is also good at mimicking. When he's in a good mood, he lively sings the sound of the microwave, our laughter, and the melody of the whistle taught to him. My whole family takes care of Chiro. He is our precious family member! I will take care of him every day so that he can live a longer life. That's all. Bye-bye! (指先に鳥を乗せて撮影)

- 3) 録画したスピーチ動画を、指定のGoogleクラスルームに提出する。

※新学期の忙しい時期ではなく、夏休み中に提出日を設定したことで、ゆとりを持って評価をすることができた。また、保護者と生徒には、ループリックで評価、コメントを個別に送信したことで、評価とその内容を共有できた。さらに、クラウド上でポートフォリオ化も可能となり、自分の発表をいつでも振り返ることで今後の自己調整力の育成が期待できる。

実践  
2

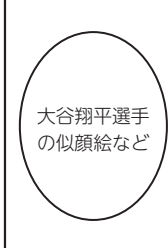
## Small Talk

## ～ インフォメーションギャップ活動から自己表現活動へ × ICT ～

Googleクラスルームのストリーム上の情報スライドに示された情報をもとに、役になりきってやり取りをした後、自分自身のことについて即興で他者とやり取りをすることで、既習事項の定着と、対話の続け方を育成する。

## &lt;教師の事前準備&gt;

- 1) 教科書の登場人物の絵カードを作成しておく。
- 2) 各登場人物の「あこがれの人」と、その人の簡単な特徴を載せたスライドを作成する。
- 3) 作成したスライドをGoogleクラスルームのストリームにあげる。




大谷翔平選手  
の似顔絵など

- Ohtani Shohei
- 27 years old
- a baseball player
- Los Angeles Angels
- Japanese
- two-way player  
(a pitcher and a hitter)

Asamiのスライド例

## &lt;生徒の活動&gt;

- 1) 絵カードから、自分の好きなキャラクターを選ぶ。
- 2) クロームブックのGoogleクラスルームを開く。
- 3) 自分のキャラクターのスライドだけ開く。  
※ほかのスライドは絶対に見ないでと伝えておく。
- 4) ペアになり、パートナーがなりきっているキャラクターの「あこがれの人」が誰なのか、どのような特徴があるのかを1分間即興で話す。



Lily Smith  
の似顔絵など

- Lily Smith
- Meg's cousin
- a doctor
- a small hospital
- help sick people
- in Kenya
- different countries

Megのスライド例

## 【会話例】

Asami役 : Who's your hero, Meg?

Meg役 : My hero is Lily Smith, my cousin.  
She works as a doctor in Kenya.

Asami役 : How nice! I want to be a doctor, too.

Meg役 : That's wonderful! So, who's your hero?

Asami役 : My hero is Ohtani Shohei. He is a  
baseball player. He is kind and smart.



- 5) 絵カードは4種類あり、座席上の4人グループ内で1人1枚ずつ選択しているため、縦、横、斜めのパートナーとやり取りを行う。
- 6) 生徒は、パートナーに自分のやり取りについて3段階評価をしてもらう。その後、自分自身で振り返りを行う。(Two Stars and a Wish : 2つ褒めて、1つ提案する。)  
※振り返り用紙は小冊子にしているので、これまでの活動をいつでも振り返ることができる。
- 7) 生徒同士や、生徒と先生とでやり取りを行い、良い点や調整点などを全体で共有する。
- 8) 最後に、自分自身の「あこがれの人」や「いいなと思う身近な人」について、即興で、英語でパートナーとやり取りを行う。

## 【会話例】

Student A : My hero is my father. He's kind and smart. He's a civil servant.

Student B : That's wonderful! My hero is ....

